



十日会誕生物語

作 西谷 朋子



我々は
何が何でも

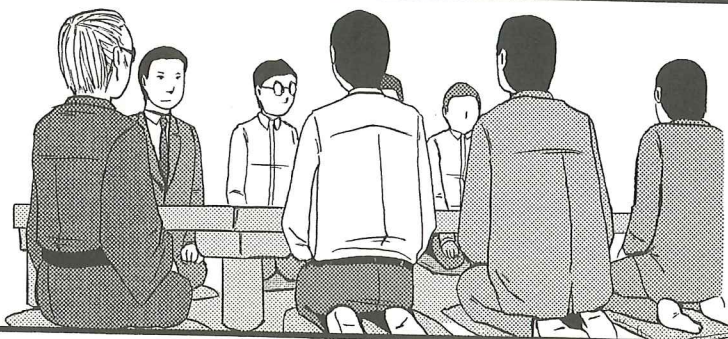
祖国を
再建せねば
ならない！

高浜 二郎



「めっきを愛する
同志としての会合」

この日集まったのは
高浜二郎氏はじめ
十名のめっき職人
であった



あの

確かに協力は
大切かと思ひ
ますが...

具体的には
この集まり

何を目的に
どんな活動を
するんです？

それは
これから詰めて
いきましよう
まだ第一回だ

まずは
情報交換から...

めっき技術の
向上をはかる
には

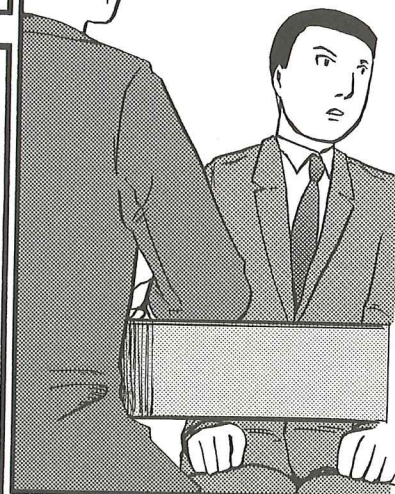
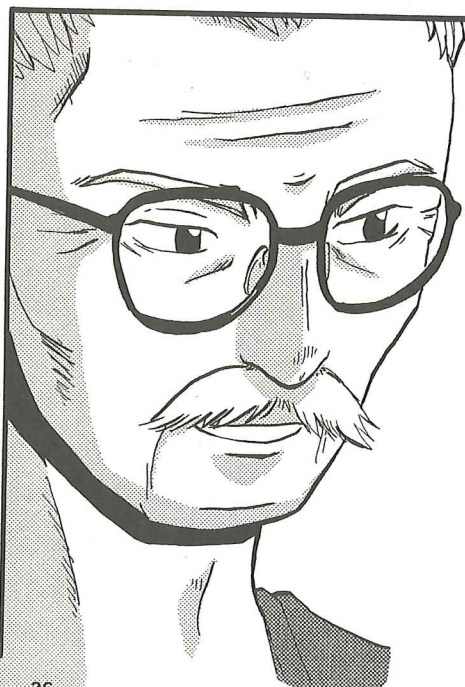
定期的な
例会を？

いや
それより

は？

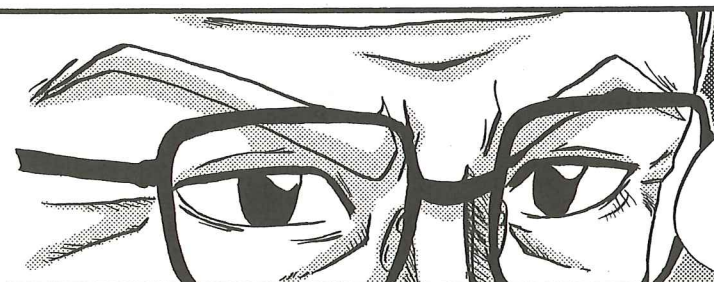
うん

これこそ
目的だよ





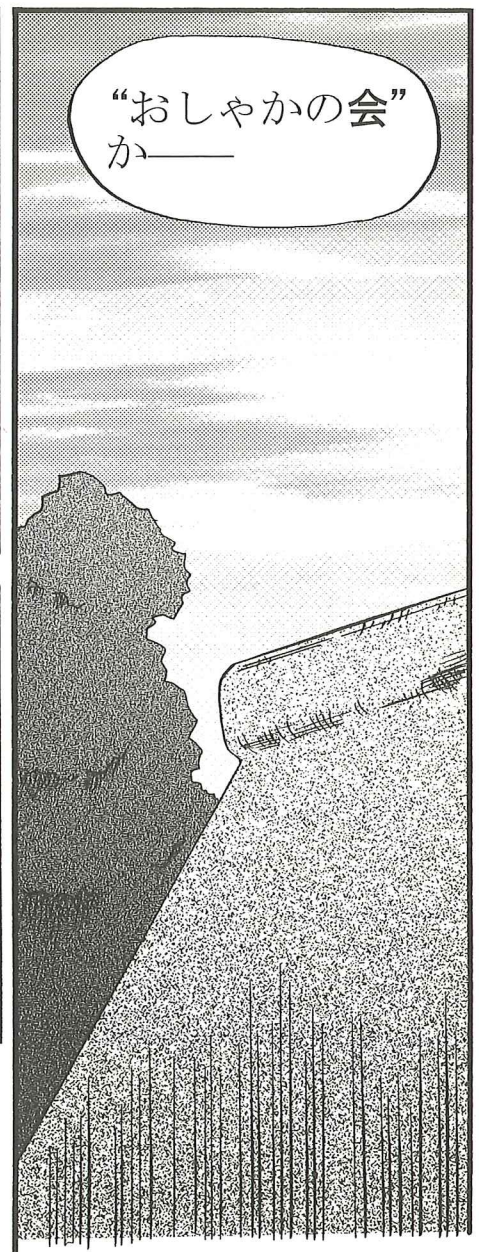
国際社会
で！

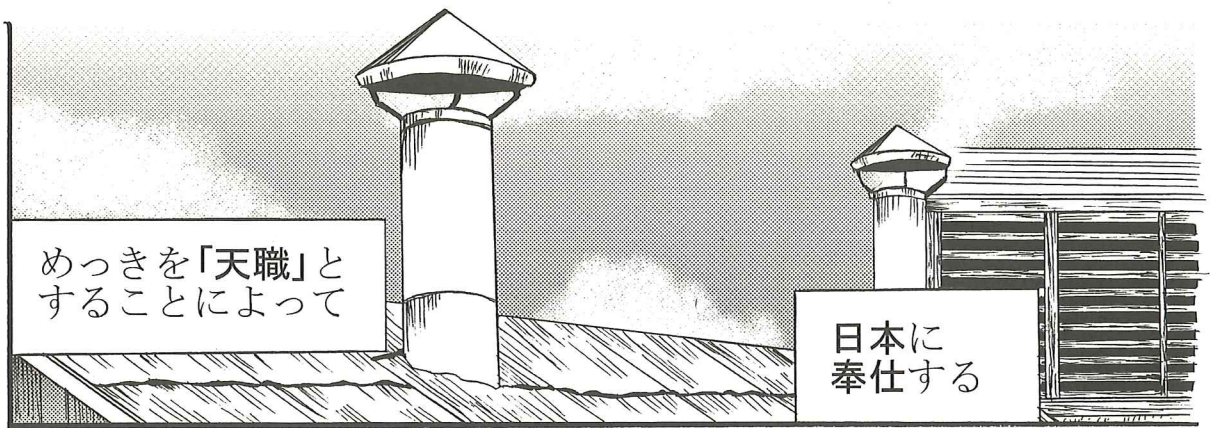


公私において
必ず必要となる









高浜はこののちも
十日会の——めっき業界の
発展のために奔走する



日本のため次世代のため…
その志は常に高潔であった

“人生は二度と通れない
道を歩みつつある”

“我々はもっとしっかり
歩かねばならない”
——高浜二郎

